

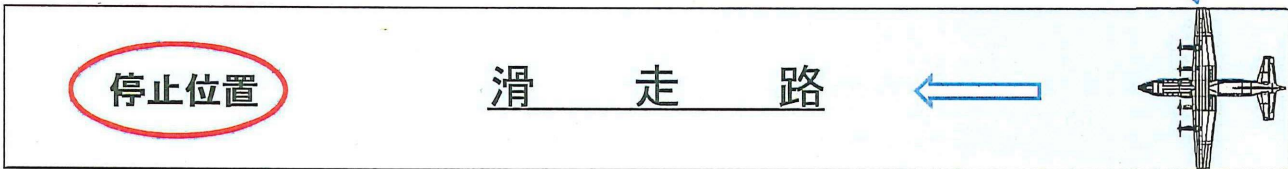
空中給油機KC-130の鹿屋基地における
訓練概要等について

平成27年5月
防衛省

離発着訓練の概要

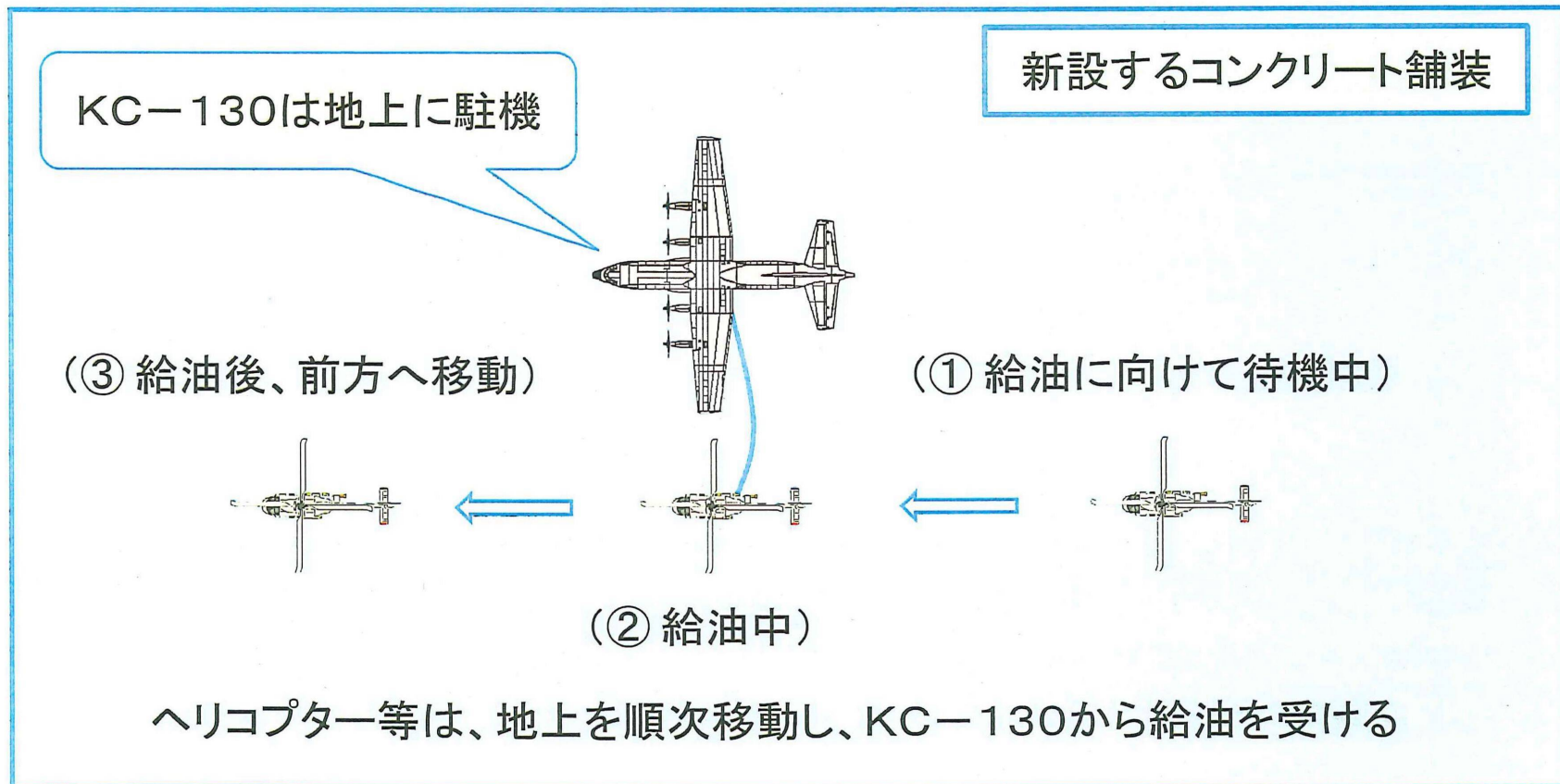
日中及び夜間に、海上自衛隊のP-3Cと同じ場周経路を飛行し、タッチ・アンド・ゴーや滑走路上の特定の位置に停止する訓練

場周経路の基本パターン



地上給油訓練の概要

日中及び夜間に、地上に駐機したKC-130から、米軍のCH-53等のヘリコプターやMV-22オスプレイに給油する訓練

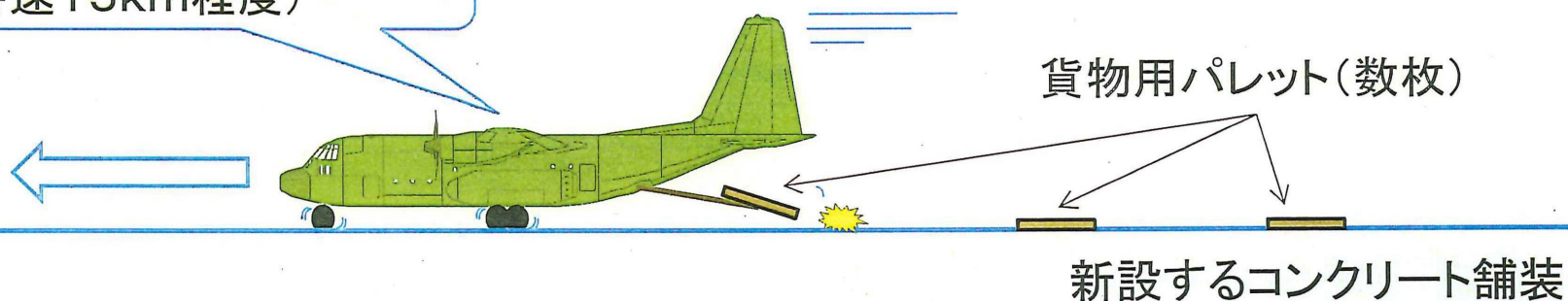


注：ヘリコプター等については、1回の訓練当たり2～4機程度を予定

荷下訓練の概要

KC-130のハッチを開けた状態のまま、地上を走行しながら、
貨物を下ろす訓練

KC-130は地上を走行
(時速15km程度)

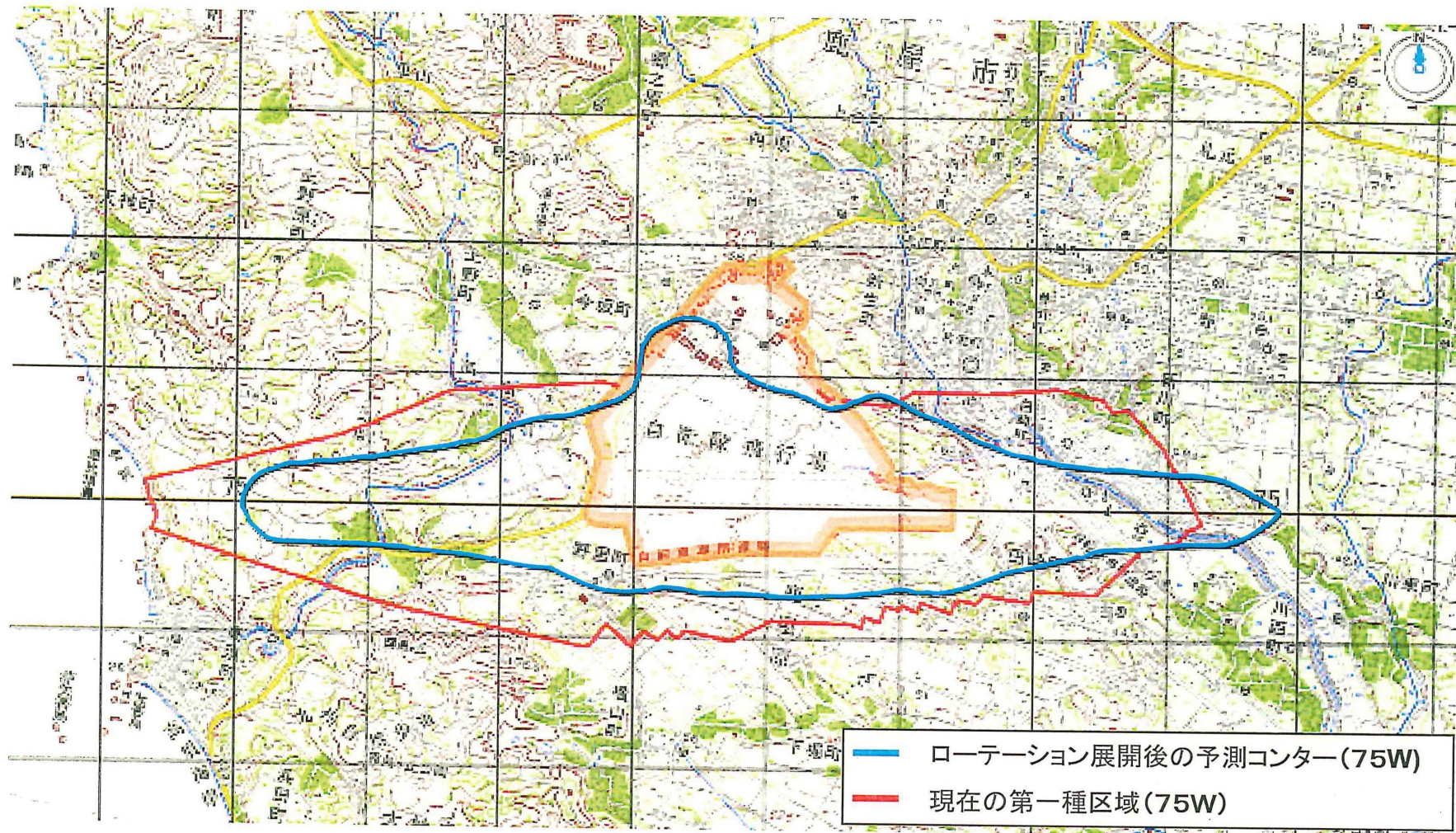


注：鹿屋基地における訓練は、貨物用パレットに貨物を積載せず、貨物用パレットのみをKC-130から下ろす予定



貨物用パレット
(約130kg)

ローテーション展開後の騒音予測コンター図



注1：騒音予測コンター図については、現在の海上自衛隊機による騒音に、KC-130のローテーション展開後の騒音を加味したものを想定し作成

2：KC-130の飛行経路は、鹿屋基地におけるP-3Cと同様と想定

3：KC-130の飛行回数は、現在、日米間で調整中の訓練内容を基に、最大値を想定

海上自衛隊鹿屋基地における施設整備位置図

